第100期
業務報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

青い海・みどりの山・大切な地元

新宮信用金庫

ごあいさつ

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに２０２１年度、第１００期の決算につきましてご報告申し上げます。
昨年度のわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の脅威に悩まされる一年であり、ワクチン接種の効果もあり一時的に落ち着きましたが、通常に近い経済活動を取り戻すには、もう少し時間が必要であり、景気が停滞する状況となりました。
当地方においても、その影響により需要の低迷や先行き不透明感などから、景気の下振れが不可避な状況となっており、引続き厳しい状況が続いています。
このような中においても、昨年９月に岸田内閣が誕生し、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をベースとして「新しい資本主義を実現」していくと約束されており、今後の地域経済が、感染拡大防止と経済活動を両立させつつ、再び景気回復軌道に復帰することが期待されるところです。
当地方に本店を置く唯一の地域金融機関として、本年６月９日に金庫創立１００周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と感謝し、その先の更なる１００年へ繋げてまいります。
「ひたむき　こだわる　正々堂々　礼儀正しい」を経営の原点に置き、当地方の金融を担っている事を自覚し、コンサルティング機能を充実し、成長性を見極めて、金融仲介機能を発揮して、地域を発展させることが当金庫の使命であります。経済活動がコロナ感染拡大前の水準まで回復するには、相当の時間を要するものと思われますが、取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し地元経済の回復に努めてまいります。
当金庫は、「長期３か年経営計画」に基づき、貸出金を中心とした確固たる収益基盤を確立するとともに、地域に対する責任と使命を自覚し、その役割を果たすため、自らを変革してまいります。
また、地域金融機関としての当金庫の方向性は、「原点回帰」であります。「原点回帰」の具体的な行動とは、①貸出金を中心にした収益の確保、②お客様との信頼関係の強化、③経費削減、④人材育成、⑤１００周年企業であります。
当地方の発展・成長のために、当金庫しかできない「地域貢献」があります。いつも地域の活性化のために役職員は何をなすべきかを常に考えて、特に創業・事業承継・経営支援に重点を置き、コンサルティング機能の向上に力をいれてまいります。
２０２１年度よりスタートした『長期３か年経営計画 ＮＥＸＴ ＳＴＡＧＥ～１００年の感謝、想いをかたちに未来を創る～』のもと、「安定した収益・財務基盤の確立」「組織力の向上」「デジタル化への対応」「地域活性化への対応」の４つを柱として、当金庫がこれまで以上に地域での存在感を高めていくことを目指し役職員が一丸となって努めた結果、預金１，１７５億円、貸出金４７１億円、当期純利益２６０百万円、自己資本比率２５．５７％、不良債権比率４．４２％と健全性を維持することができました。これもひとえに会員ならびにお取引先各位のご支援、ご愛顧の賜物と厚く感謝申し上げます。
当金庫は、コンプライアンス態勢の一層の充実強化を図り、地域・規模・特性等を踏まえた統合的リスク管理態勢（内部統制の構築）の強化を推進し、地域になくてはならない地域金融機関として、役職員一同が邁進していく所存でございますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

２０２２年６月

新宮信用金庫
理事長　浦木　睦雄

経営理念

地元の発展のために、よい企業、よい家庭、よい社会の建設に金庫の力を結集しましょう。

地元の繁栄を願い、常に地元とともに共存共栄の精神で、地元の人達の事業や生活の繁栄のために、地域金融機関としてその使命に徹し、役立てられるよう努力いたします。

私たちの綱領

1．私たちは、地元のみなさまにより、つくられ育てられたあなたたちの金融機関です。

2．私たちは、地元のみなさまへの奉仕と、地元発展へのお手伝いを最大の念願としています。

3．私たちは、お客さま、あなたのご満足をもって、すべての喜びといたします。

4．私たちは、あなたのご商売の後ろ盾となれるよう、どこまでも大きく育ちたいと思います。

5．私たちは、あなたのお台所のどんな零細なご用にも役立ちたいと思います。

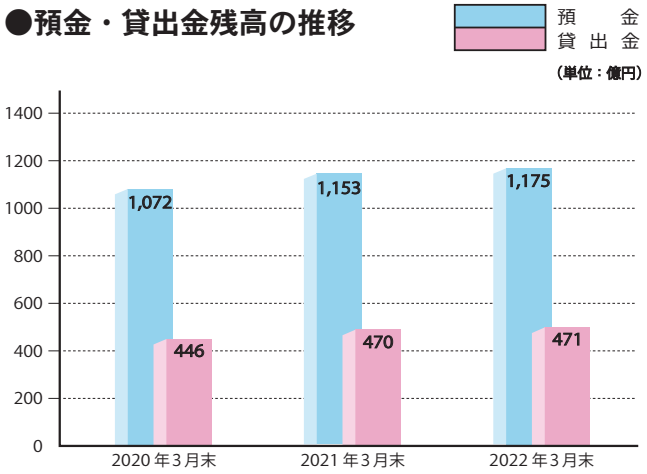
6．私たちは、地元のみなさま方、みんなから愛され、導かれる金融機関でありますよう、どこまでも努めます。

当金庫の概要（2022年３月末現在）

名　称	新宮信用金庫
所在地	〒647-0004 和歌山県新宮市大橋通３丁目１番地の４ ＴＥＬ　０７３５－２２－２０００
創　立	１９２２年６月９日
出資金	２億5,９４０万円
会員数	７,８０５人
職員数	８８人
店舗数	８店舗

事業の概要

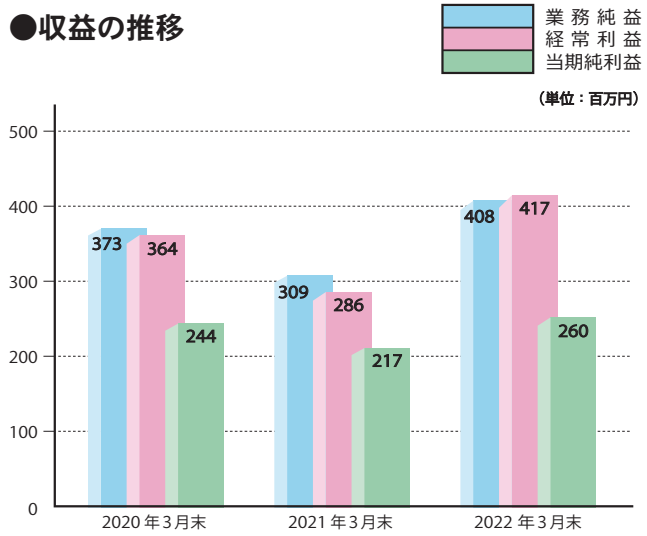
●預金・貸出金残高の推移



■預金と貸出金の状況

預金については、2022年3月末・1,175億円と前年度に比べ22億円増加しました。
貸出金については、2022年3月末・471億円と前年度に比べ1億円増加しました。

●収益の推移



■収益の状況

市場金利が低水準で推移する厳しい環境の中、経営の合理化・効率化に努め、業務純益は408百万円を計上、また諸償却、諸引当金繰入などを行った結果、経常利益は417百万円、当期純利益は260百万円となりました。

●信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円）

区　分	2022年3月末
●破綻更生債権及びこれらに準ずる債権	284
●危険債権	1,665
●要管理債権	139
三月以上延滞債権	1
貸出条件緩和債権	137
小　計①	2,089
うち担保・保証額②	1,573
うち貸倒引当金繰入額③	333
保全率（②+③／①）	91.25%

当金庫の2022年３月末のリスク管理債権は2,089百万円・・・①
このうち不動産・預金担保・保証協会等の担保・保証額で1,573百万円・・・②
さらに333百万円を引当処理（貸倒引当金繰入＝事前の手当て）・・・③
しており、保全率（カバー率）は91.25%に達しており、不良債権への対応に万全を期しています。

●有価証券の時価情報

（単位：百万円）

	種　類	貸借対照表計上額	取得原価	差　額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	44	5	39
	債券	17,370	16,368	1,001
	国債	6,011	5,504	506
	地方債	5,017	4,779	238
	社債	6,341	6,084	256
	その他	4,181	3,809	372
	小　計	21,596	20,183	1,413
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	－	－	－
	債券	19,218	19,926	△ 707
	国債	5,402	5,575	△ 173
	地方債	9,091	9,417	△ 326
	社債	4,725	4,932	△ 207
	その他	13,027	13,499	△ 472
	小　計	32,246	33,426	△ 1,179
合　計		53,843	53,609	234

（2022年３月末）

注１．貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
　２．上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
　３．市場価格のない株式は、本表には含めておりません。

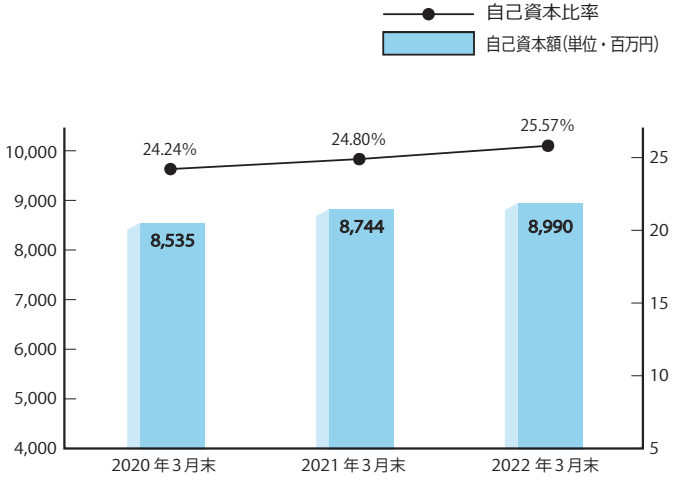
●自己資本比率（国内基準）の推移

（単位：百万円）

項　　目	2022年3月末
コア資本に係る基礎項目	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	8,959
うち、出資金及び資本剰余金の額	259
うち、利益剰余金の額	8,714
うち、外部流出予定額（△）	7
うち、上記以外に該当するものの額	△6
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	48
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	48
コア資本に係る基礎項目の額　（イ）	9,008
コア資本に係る調整項目	
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	18
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	18
コア資本に係る調整項目の額　（ロ）	18
自己資本	
自己資本の額（（イ）－（ロ））　（ハ）	8,990
リスク・アセット等	
信用リスク・アセットの額の合計額	32,581
資本（オン・バランス）項目	32,494
オフ・バランス取引等項目	86
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を８％で除して得た額	2,567
リスク・アセット等の額の合計額　（ニ）	35,148
自己資本比率	
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	25.57%

■自己資本比率について

金融機関の健全性を判断する大変重要な指標が「自己資本比率」です。当金庫の自己資本比率は、2022年３月末で25.57％と高く、国内基準の４％を大きく上回り健全な経営を行っています。



庶務の概要

通常総代会

2021年6月18日開催の第99期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案どおり承認可決されました。

第１号議案　第99期（2020年度）剰余金処分案承認の件
第２号議案　任期満了に伴う理事７名選任の件
第３号議案　新任監事２名選任の件＜２名退任、２名選任＞
第４号議案　退任監事に対する退任慰労金贈呈の件
第５号議案　会計監査人の変更の件
第６号議案　総代選考委員選任の件

出資会員の皆様へ

出資証券における諸手続きについて

①住所・氏名等の変更について

出資証券、変更内容が確認できる書類、および届出印をご用意いただき、金庫所定の「届出事項変更届」に必要事項を記入の上、当金庫窓口へご提出ください。

②会員の方が死亡された場合について

脱退手続きが必要となりますので、相続人を代表する方は当金庫窓口へご相談ください。

なお、相続人が出資証券を譲受することも可能ですが、一定の条件が必要な場合もあり、認められない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

③会員の脱退について

出資証券、届出印、本人確認書類をご用意いただき、当金庫窓口へご相談ください。

なお、出資証券の払戻しまで、しばらくお時間をいただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

その他出資金、配当金に関するお問い合わせは、当金庫各店舗へお問い合わせください。

●復興特別所得税について

２０１３年（平成２５年）から２０３７年（令和１９年）まで、出資配当金にかかる所得税（２０％）に対しては、復興特別所得税（所得税額２０％×２.１％＝０.４２％）が付加されております。

第100期 貸借対照表

2022年3月31日現在　　（単位：百万円）

（資産の部）	金額
現金	2,765
預け金	28,469
有価証券	53,848
国債	11,413
地方債	14,109
社債	11,066
株式	49
その他の証券	17,209
貸出金	47,149
割引手形	41
手形貸付	953
証書貸付	45,105
当座貸越	1,048
その他資産	619
未決済為替貸	4
信金中金出資金	479
未収収益	119
その他の資産	15
有形固定資産	880
建物	504
土地	279
リース資産	2
その他の有形固定資産	93
無形固定資産	18
ソフトウェア	14
その他の無形固定資産	3
繰延税金資産	50
債務保証見返	18
貸倒引当金	△377
（うち個別貸倒引当金）	△328
資産の部合計	133,440

注1．記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

（単位：百万円）

（負債の部）	金額
預金積金	117,575
当座預金	1,899
普通預金	63,003
貯蓄預金	27
定期預金	48,304
定期積金	3,706
その他の預金	634
借用金	6,400
借入金	6,400
その他負債	190
未決済為替借	13
未払費用	29
給付補填備金	0
未払法人税等	58
前受収益	4
払戻未済金	5
リース債務	2
その他の負債	76
賞与引当金	27
退職給付引当金	15
役員退職慰労引当金	70
偶発損失引当金	3
睡眠預金払戻損失引当金	2
債務保証	18
負債の部合計	124,304
（純資産の部）	
出資金	259
普通出資金	259
利益剰余金	8,714
利益準備金	264
その他利益剰余金	8,449
特別積立金	8,040
当期未処分剰余金	409
処分未済持分	△6
会員勘定合計	8,967
その他有価証券評価差額金	169
評価・換算差額等合計	169
純資産の部合計	9,136
負債及び純資産の部合計	133,440

第100期 損益計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで　　（単位：千円）

科目	金	額
経常収益		**1,604,175**
資金運用収益	**1,351,701**	
貸出金利息	780,701	
預け金利息	23,503	
有価証券利息配当金	535,664	
その他の受入利息	11,832	
役務取引等収益	**133,141**	
受入為替手数料	55,542	
その他の役務収益	77,598	
その他業務収益	**95,593**	
国債等債券売却益	94,847	
その他の業務収益	745	
その他経常収益	**23,738**	
貸倒引当金戻入益	14,538	
その他の経常収益	9,199	
経常費用		**1,187,001**
資金調達費用	**14,181**	
預金利息	13,597	
給付補填備金繰入額	584	
役務取引等費用	**107,378**	
支払為替手数料	12,496	
その他の役務費用	94,882	
その他業務費用	**390**	
その他の業務費用	390	
経費	**1,062,081**	
人件費	655,387	
物件費	369,230	
税金	37,462	
その他経常費用	**2,970**	
株式等売却損	125	
その他の経常費用	2,845	
経常利益		**417,173**
特別損失		**31,150**
固定資産処分損	574	
減損損失	30,576	
税引前当期純利益		**386,022**
法人税、住民税及び事業税	**104,587**	
法人税等調整額	**20,803**	
法人税等合計		**125,391**
当期純利益		**260,631**
繰越金（当期首残高）		**149,192**
当期未処分剰余金		**409,824**

注1．記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
　2．出資1口当たり当期純利益金額５０円５３銭

第100期 剰余金処分計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科目	金額
当期未処分剰余金	**409,824,183円**
繰越金（当期首残高）	149,192,479円
当期純利益	260,631,704円
利益準備金取崩額	**5,503,600円**

これを次の通り処分いたします。

剰余金処分額	**267,644,660円**
普通出資に対する配当金（年3%）	7,644,660円
特別積立金	260,000,000円
繰越金（当期末残高）	**147,683,123円**

以上の通りであります。
２０２２年６月

新宮信用金庫

理事長　浦木　睦雄
常務理事　横田　勝之
常勤理事　南　聖
〃　小谷　浩史
〃　和平　幸勝
理事　関　康之
〃　植松　浩

上記各項を監査の結果、
正確なることを認めます。
２０２２年６月

常勤監事　下野　義邦
非常勤監事　尾﨑　能彦
員外監事　小山貴三郎

※貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、信用金庫法第３８条の２第３項の規定に基づき、五十鈴監査法人の会計監査を受けております。

地域とともに歩み続ける・・・

どこまでも、どんなときも、
地域とともに歩み続けること。
それは私たちしんぐう信金の
変わらぬ姿勢です。
これからもしんぐう信金は、
この街と生きていきます。

店舗一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店営業部	〒647-0004　新宮市大橋通３丁目１番地の４	0735-22-6191
徐福支店	〒647-0004　新宮市大橋通３丁目１番地の４	0735-21-6263
勝浦支店	〒649-5332　東牟婁郡那智勝浦町朝日２丁目165番地の3	0735-52-0123
佐野支店	〒647-0071　新宮市佐野１丁目２番21号	0735-31-7055
御浜支店	〒519-5204　南牟婁郡御浜町阿田和4265番地	05979-2-2010
熊野支店	〒519-4324　熊野市井戸町385番地の１	0597-89-1500
十津川支店	〒637-1554　吉野郡十津川村平谷455番地	0746-64-0311
緑ヶ丘支店	〒647-0043　新宮市緑ヶ丘１丁目８番35号	0735-21-6110

ＵＲＬ:https://www.shinkin.co.jp/shingu

店外ATMコーナー

徐福出張所	新宮市蓬莱2丁目1番5号
主婦の店パシフィックマーケット出張所	南牟婁郡紀宝町鵜殿1712番地の1
スーパーセンターオークワ南紀店出張所	新宮市佐野３丁目11番19号
イオン新宮店出張所	新宮市橋本2丁目14番23号